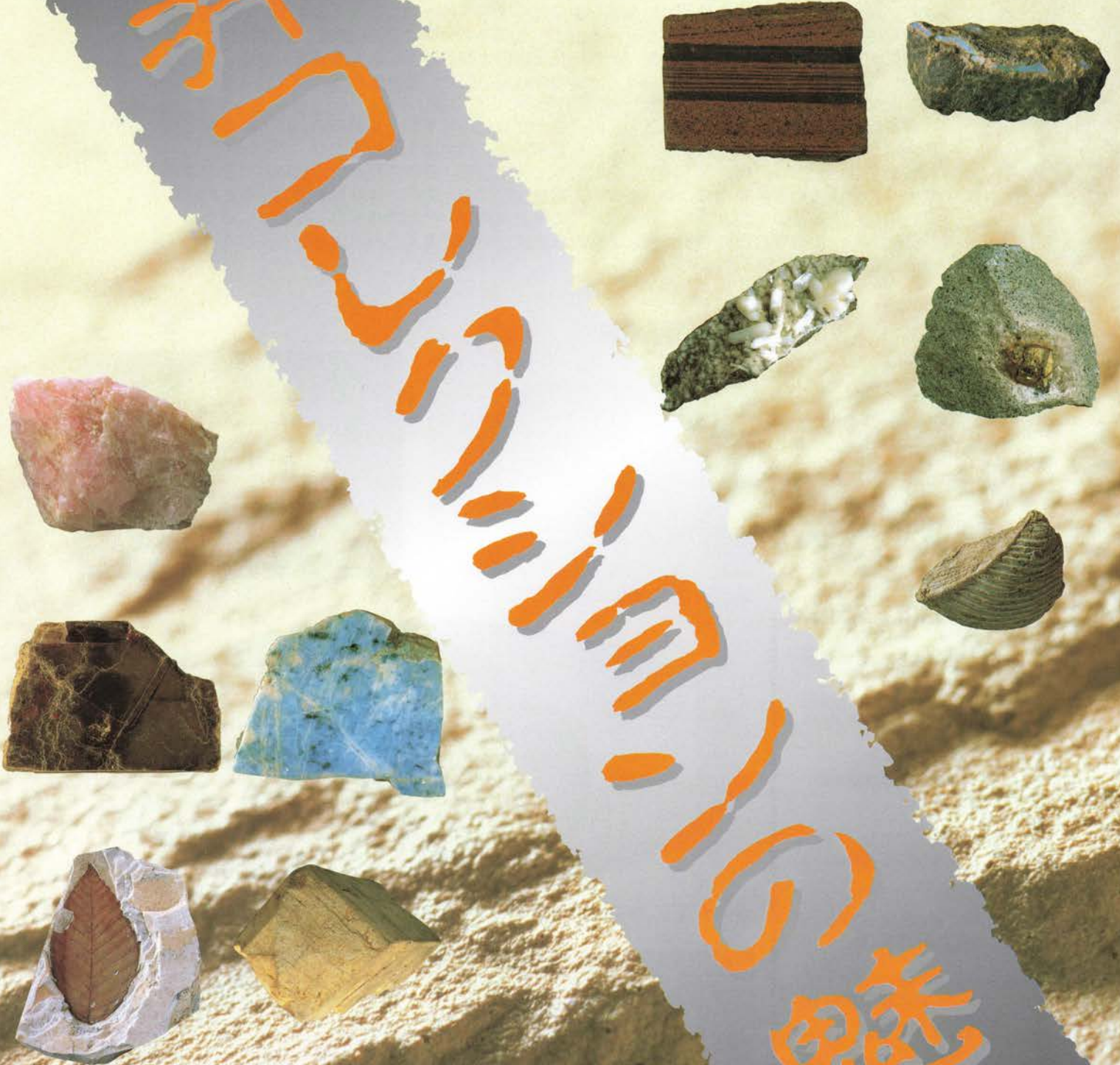


偉大なアマチュア自然科学者の軌跡

櫻井謙一博士の魅力を



3/1(土)~5月11日

休館日：毎週月曜日(ただし、5月5日は開館)、3月21日、4月17日休
会場：博物館特別展示室

記念講演会 「櫻井コレクションの魅力」

内容：鉱物・化石の偉大な研究者、櫻井謙一博士の足跡をたどる
日時：3月1日(土) 14:00~15:30
開催場所：博物館ミュージアムシアター
講師：館長 濱田 隆士
対象：一般 300名(抽選)

神奈川県立 生命の星・地球博物館
Shizuoka Prefecture Museum of Natural History



交通：箱根登山鉄道 入生田(いりりだ)駅下車徒歩3分
所在地 小田原市入生田499 TEL. 0465-21-1515

櫻井欽一博士と櫻井コレクションについて

館長 濱田 隆士

地球環境問題が重大な世界的課題として登場し、何とかしなくては地球も人類もダメになる、という危機感が広まってきています。地球環境の病的局面を、科学技術の力だけに頼って手当しようとしても、なかなかうまく機能していません。それどころか、さらに多くのエネルギーを使うことになってしまい、難しい事態も生まれてきています。

本来、地球環境の悪化に対応するなら、地球環境の成り立ちや歴史をよく知る必要があります。具体的には、地球自然と地球資源をより良く理解するということでしょう。それには自然史博物館が大きな役割を果たしている、という認識も大切です。自然史博物館は莫大な資料に支えられています。それでも、まだまだ地球の本質に迫るのは大変です。魚にしても昆虫にしても、地球は多様性にあふれ、地域特性も高いので、博物館独自ではとても手がまわりません。そこで、多くのコレクターの協力を仰ぐことになります。

櫻井先生は神田のとり料理「ぼたん」のご主人だったのですが、鉱物を中心に、貝類など膨大な「櫻井コレクション」をつくり上げられました。理学博士も取られた“下町学者”として高名な方ですが、横浜国立大学の講師もなさいました。櫻井先生が亡くなられた後、御本人や御家族のお考えで、コレクションの大部分がこの生命の星・地球博物館に寄贈されることになりました。この大切な“地球財産”の粋を集めて、今回の特別展「櫻井コレクションの魅力」が企画されたのです。個人の努力の結晶がいかに偉大であるかをじっくりと味わっていただければ幸いです。

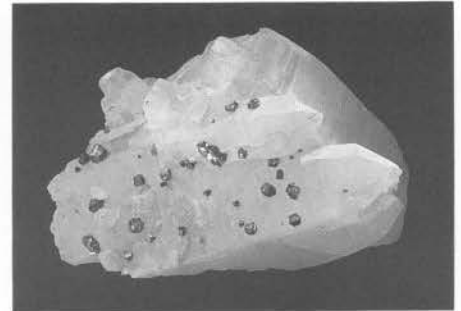
■主な展示資料



故 櫻井欽一博士



磁鉄鉱 福岡県田川郡香春町三ノ岳



錫石 茨城県西茨城郡七会村高取鉱山

櫻井欽一博士略年表

1912年 12月11日東京神田連雀町
(現在の須田町) に生まれる。

1932年 専修大学予科終了
日本鉱物誌第三版編集委員
になる。

1942年 東京科学博物館
(現在の国立科学博物館) の
嘱託となる。

1950-56年 横浜国立大学学芸学部
で非常勤講師を務める。

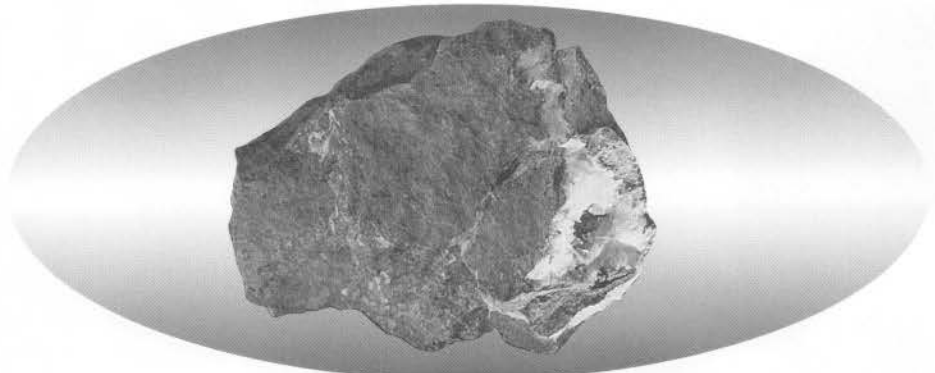
1952年 湯河原沸石
(Yugawaralite) を
新鉱物として記載。

1955年 東京大学で博士号を取得。

1961年 東京平河町に櫻井標本室を
開設。

1964年 紫綬褒章を授与される。

1993年 4月 日本地質学会功労賞
を受賞
10月6日永眠。享年80歳。



湯河原沸石 神奈川県足柄下郡湯河原町不動滝



古生代シルル紀の三葉虫類



中生代白亜紀のアンモナイト